

対面
形式
&
WEB
配信

久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー

大山哲司 (久留米大学バイオ統計センター・講師)

「分類データの評価者間一貫性について」

医学や心理学など様々な分野で、被験者の状態を評価者が主観的にあるカテゴリーに分類するということがしばしば行われる。このような場合に評価者によって分類結果がバラバラになると、その後を受ける医療や研究の結果に重大な影響が生じる。そのため新しく評価尺度を開発する場合には、評価者間でどの程度の一致が見られるかを確認することが重要となる。分類データの評価者間一貫性を評価するにはCohen (1960)により提案された κ 係数がよく用いられているが、 κ 係数には問題点があることも知られている。そのため様々な別の指標も提案されており、近年ではGwet (2008)により提案されたAC1 (名義データの場合) やAC2 (順序データの場合) という一貫性の指標が用いられることが多くなってきている。本発表では2値分類データに焦点を当て、はじめに κ 係数に関する簡単なレビューと問題点の説明を行った後、GwetのAC1の紹介、及びAC1について発表者がこれまでに行ってきた研究の紹介を行う。

日時：2020年7月30日(木) 18:00-19:30

場所：久留米大学バイオ統計センターコンピュータ室
(医学部B棟7階)

(対面形式とLIVE配信)対面形式へのお申込み不要

LIVE配信ご希望の際は下記メールアドレスへ、件名「7/30公開セミナー
受講希望」、氏名、所属、職名をご記入の上、前日までにお申し込みくだ
さい。メール返信にてURL送ります。

✉ biostat_seminar@med.kurume-u.ac.jp
<http://www.biostat-kurume-u.jp>